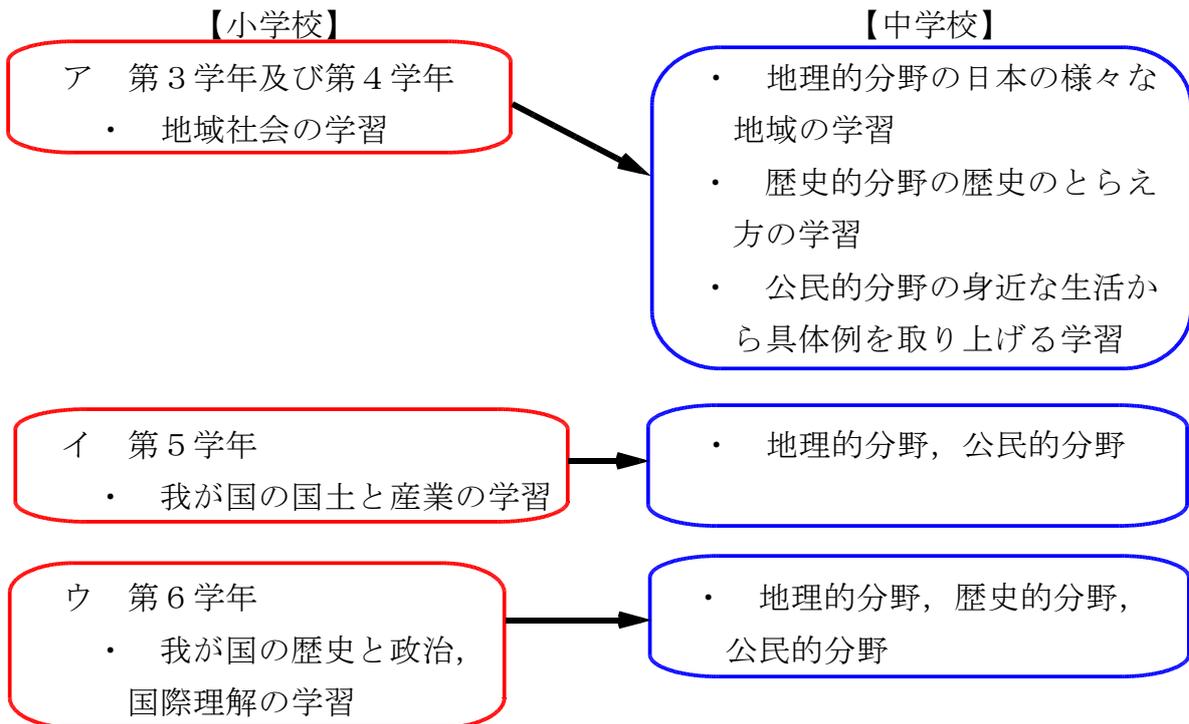


○ 指導計画作成上の主な配慮事項はどうなっているのか。

1 小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開するこの教科の基本的な構造に留意して、全体として教科の目標が達成できるようにする必要があるのである。

(1) 小学校社会科の内容との関連を図る。



(2) 各分野相互の関連を図り、第1学年から第3学年までを見通した全体的な指導計画を作成し、全体として目標が達成できるようにする。

- ・ 今回の改訂では、第3学年において歴史的分野と公民的分野の学習が設けられているが、最初に歴史的分野の学習を行い、それが終了してから公民的分野の学習を行うこととする。

2 各分野の履修については、第1, 第2学年を通じて地理的分野と歴史的分野を並行して学習させることを原則とし、第3学年において歴史的分野及び公民的分野を学習させること。各分野に配当する授業時数は、地理的分野120単位時間、歴史的分野130単位時間、公民的分野100単位時間とすること。これらの点に留意し、各学校で創意工夫して適切な指導計画を作成すること。

- (1) 地理的分野は第1，第2学年あわせて120単位時間履修させ，歴史的分野については第1，第2学年あわせて90単位時間，第3学年の最初に40単位時間履修させ，その上で公民的分野を100単位時間履修させること。
- (2) 第1学年，第2学年の社会科の授業時数は，それぞれ105単位時間であるが，これを地理的分野と歴史的分野に適切に配分する。

3 知識に偏り過ぎた指導にならないようにするため，基本的な事項・事柄を厳選して指導内容を構成するものとし，基本的な内容が確実に身に付くよう指導すること。また，生徒の主体的な学習を促し，課題を解決する能力を一層培うため，各分野において，内容の範囲や程度に十分配慮しつつ事項を再構成するなどの工夫をして，適切な課題を設けて行う学習の充実を図るようにすること。

- (1) 諸地域や各時代の細かな構成要素を網羅的に扱ったり，諸要素の成因を細かく追究したり，用語や概念を細かく列挙してその解説のみの指導に陥ったりするような扱いは避け，各項目のねらいや生徒の特性等に十分配慮して，基本的な事項・事柄を精選して扱う。
- (2) 「生徒の主体的な学習を促し，課題を解決する能力を一層培うため」の部分は，「適切な課題を設けて行う学習」を実施するねらいを述べたものである。この学習は，単に生徒の興味・関心を高めることにとどまらず，自ら課題を見だし，自ら学び自ら考え，課題を解決する力を育成することを目指している。したがって，生徒の特性等を考慮して学習の内容や方法を検討し，生徒の主体的な学習を促すような構成，展開を工夫することが大切である。
- (3) 「適切な課題を設けて行う学習」については，学習指導要領で示した内容の中で課題を設けて行う学習に適したものを選び，それを構成し直すなどの工夫をして行う。なお，実際の指導内容においては中単元や小単元に当たると想定されることから，数単位時間を配当して課題を見だし追究するかたちで展開できるよう工夫することが望まれる。